

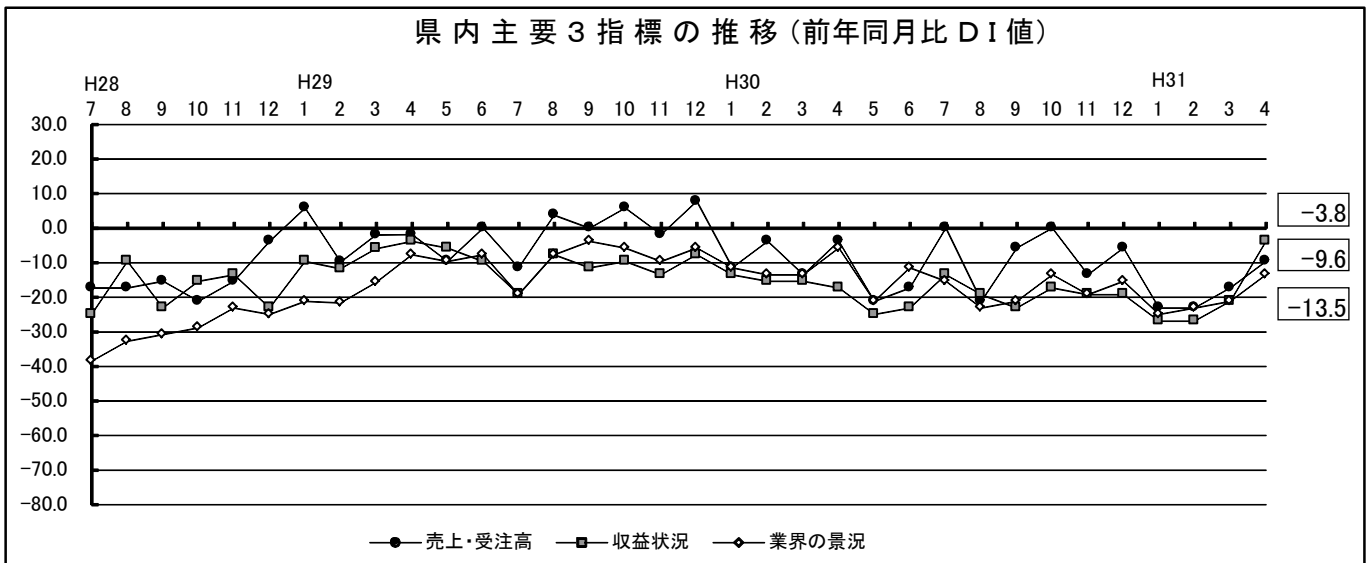
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成31年4月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 4月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の8指標が上昇した。
- 主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも前月より上昇し、それぞれ-9.6ポイント、-3.8ポイント、-13.5ポイントであった。
- 4月は前月DI値差表をみると8指標において好転しており、一時の著しい景況悪化が改善したように感じられるが、前年同月DI値と比べると数値はほぼ不変となっており、依然として深刻な状況に変わりはない。また、売上の伸びが少なかったことや大型連休明けの買い控え、仕入単価の上昇などを心配する声が多く、引き続き先行きを注視していく必要がある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-9.6	+7.7	-11.8	+4.6
収益状況	-3.8	+17.4	-18.9	+2.9
業界の景況	-13.5	+7.7	-22.0	+1.5

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より7.7ポイント上昇し、-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より4.6ポイント上昇し-11.8ポイントとなった。

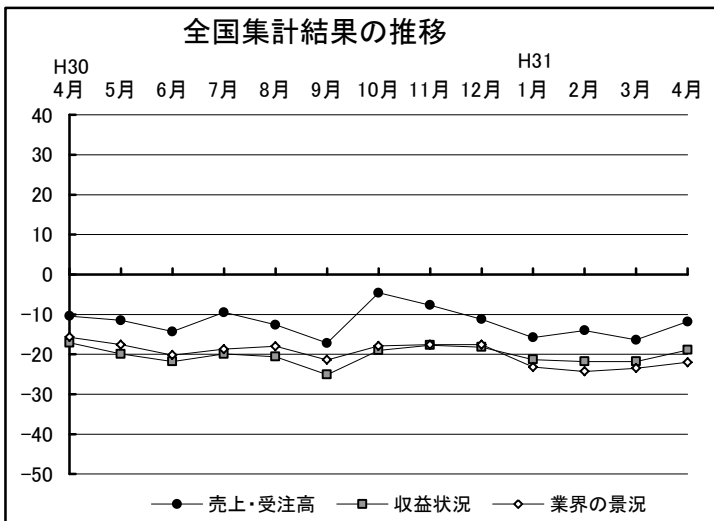
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より17.4ポイント上昇し、-3.8ポイントとなった。全国においては、前月より2.9ポイント上昇し-18.9ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より7.7ポイント上昇し、-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より1.5ポイント上昇し-22.0ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

4月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の8指標が上昇した。

主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも前月より上昇し、それぞれ-9.6ポイント、-3.8ポイント、-13.5ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中4業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、3業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中3業種が上昇し、非製造業で6業種中2業種が上昇、1業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中3業種が上昇し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が下降した。

4月は前月DI値差表をみると8指標において好転しており、一時の著しい景況悪化が改善したように感じられるが、前年同月DI値と比べると数値はほぼ不変となっており、依然として深刻な状況に変わりはない。また、売上の伸びが少なかったことや大型連休明けの買い控え、仕入単価の上昇などを心配する声が多く、引き続き先行きを注視していく必要がある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	○	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	○	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	×	△	△
鉄鋼・金属	△	×	△	△	×	△	△	△	×
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	○	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	0.0	50.0	-25.0	-50.0	-25.0	25.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	25.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	50.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	25.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	-25.0	25.0	50.0	25.0
製造業	4.0	-20.0	4.0	-8.0	-4.0	-4.0	0.0	8.0	-8.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-71.4	-28.6	0.0	-28.6	-57.1	-28.6		0.0	-71.4
サービス業	-16.7		0.0	0.0	33.3	16.7		0.0	-16.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-22.2	-10.0	0.0	-7.4	-3.7	-3.7		0.0	-18.5
全体	-9.6	-17.1	1.9	-7.7	-3.8	-3.8	0.0	3.8	-13.5

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	4月	前月 比
売上高	-3.8	-21.2	-17.3	0.0	-21.2	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	-17.3	-9.6	7.7
在庫数量	-14.3	-14.3	-11.4	-2.9	-11.4	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-17.1	-17.1	0.0
販売価格	3.8	9.6	11.5	11.5	7.7	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	1.9	-1.9	1.9	3.8
取引条件	-3.8	-5.8	-3.8	-3.8	-3.8	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-7.7	5.8
収益状況	-17.3	-25.0	-23.1	-13.5	-19.2	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	-21.2	-3.8	17.4
資金繰り	-9.6	-15.4	-9.6	-5.8	-11.5	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	-11.5	-3.8	7.7
設備操業度	-8.0	-12.0	-12.0	-4.0	-12.0	-12.0	0.0	4.0	4.0	-16.0	-8.0	-8.0	0.0	8.0
雇用人員	1.9	0.0	-1.9	-5.8	-7.7	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	0.0	-3.8	3.8	7.6
業界の景況	-5.8	-21.2	-11.5	-15.4	-23.1	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	-21.2	-13.5	7.7

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0	50.0	75.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-75.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	75.0	-50.0	0.0	0.0	75.0	0.0	50.0	50.0	50.0
製造業	24.0	-4.0	8.0	0.0	20.0	8.0	8.0	16.0	24.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-42.8	0.0	-14.3	0.0	-14.2	0.0		-14.3	-28.5
サービス業	0.0		0.0	16.7	66.6	33.4		16.7	-16.7
建設業	-20.0		20.0	20.0	0.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	75.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	0.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-7.4	10.0	0.0	11.1	14.8	7.4		0.0	-7.4
全体	7.7	0.0	3.8	5.8	17.4	7.7	8.0	7.6	7.7

特記事項

情報連絡員報告（平成31年4月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	このところ原材料の値上げが続いており、それに伴う価格への対応が難しい。また、昨年のイベントの反動も大きい。
酒類製造業	昨年夏頃からの清酒需要の減少が加速し、売上数量が昨年度より2割弱少なくなっている。酒類別にみると、一般酒の減少が著しい一方、特定銘柄酒と呼ばれる高額の清酒の売上が微増しているため、売上高に大きな打撃は今のところ出ていないようであるが、今後の不安材料である。
縫製業	縫製業は厳しい経営状況のため、廃業等で生産ペースが減少しており、残っている事業所はそれなりに忙しいが、先の見通しは大変厳しい。4月より有休の5日間取得が義務付けられたが、最賃であっても1人あたり年間35,000円の経費増が経営を圧迫している。
染色整理業	季節的要因により、一部企業で若干の好転がみられる。
綱・網・レース・繊維粗製品製造業	4月に入りレースシーズンではあるが、期待していたほど反応は良くなかった。百貨店、アパレルの動向においてもいまいち伸び悩んでいるが、年号が変わったことに伴い消費者の購買意欲も上がってくれることを期待している。
一般製材業	見積り物件数が増加したものの、営業力不足により受注率が低迷した。
集成材製造業	4月は売上がたまたま増加したが、このまま安定した売上増を期待している。毎月の波が大きく、人員確保が厳しい。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。また、組合員数も減少している。
石灰製造業	鉄鋼関係、建材土質関係は4月以降思った以上に伸び悩んでいる。肥料関係は例年通りの推移であった。トータルでは減少気味ではあるが、横ばいの範囲内であった。
砕石製造業	平成30年度（4月～3月）の出荷量は16,316,606トンであり、前年同月比0.6%減で推移した。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	全般的に不変である。しかし、企業間格差があり一様に不変ということではなく、売上高については収益減少の悪化懸念、仕入単価の上昇懸念が存在している。今後の動向を注視しつつ対応していくことが必要である。なお、人手不足は依然として継続中である。
一般機械器具製造業	2019年に入り多くの企業で受注が悪化していたが、4月に入りようやく改善してきた。しかし、落ち込み幅が大きかったため、今後も楽観はできない。新元号改正や新天皇即位にともない景況感が上昇したような報道もあるが、現実問題として収入が増加したわけではないので、現状は厳しいと感じている。
化粧品卸売業	得意先への対応や在庫管理など大型連休中の対応が大変であった。
各種商品卸売業	当団地は宇都宮市の都市計画「準工業地域」であり、「宇都宮市特別用途地区建築条例」により建築制限がある。これにより、組合は現在まで純粋な卸商業団地の活動に専念できていた。しかし、周辺地域の環境変化も大きく、宇都宮市から条例の緩和について検討を行う計画案が示された。将来の組合事業活動を見据え、このような検討の場に参加を予定することとなった。

食肉小売業	4月の前半は、仕入相場も落ち着き前年同様の荷動きであった。安価な商品の物流が多かったので売上の伸びはなかった。大型連休を控え、商品の動きが良くなった。
中古自動車小売業	新車・高額車は個人リースが伸びているが、全体的に中古車は低額の需要が多くなっている。
各種商品小売業	4月も引き続き厳しい期となった。大型店・中型店共に悪い月であったように思う。
各種商品小売業	全業種とも客数が前年を割っており、全体としての集客に苦戦した。ゴールデンウィーク10連休を迎えるにあたり、連休前の施策が打ち出しにくかったことも影響した。観光需要の立地ではないため、連休中の大幅な伸びは期待できず、また、連休明けの買い控えも懸念されるため、5月も厳しい状況になると予想される。
花・植木小売業	4月は入学式や新年度のイベント需要、連休での婚礼需要などにより花が良く流通した。その一方で、今年の春は気温の寒暖差が激しく、朝晩の冷え込みで気温が下がったことなども影響し、例年よりも入荷が少ない品目もあり、単価は前年対比で1割～2割高の推移となり、仕入に苦労した。
理容業	例年、年度末には組合脱退者が増加する傾向にあるが、今月も多く脱退者がみられた。高齢によるやむを得ない廃業者が多い中、廃業以外の理由での脱退者が数名いたので、対応策を考え何とか脱退を食い止めるようにしていきたい。
自動車整備業	売上高が増加傾向にあるが、人材の確保が難しく、対応に苦慮している。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関し、4月は全体として高稼働であり、大型連休前半も高稼働で推移した。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなってきた。宴会に関して、ここ数年のトレンド通り多くの受注があり、3月後半からの歓送迎会は単価も高かった。飲食店利用に関しては、大型連休の10連休はあまり良い方向には向かないと感じた。
ビルメンテナンス業	ビルメンテナンス業務では営繕関係のスポット作業などが増加傾向にある一方、清掃業務は費用削減が求められている。
給食センター	4月1日から産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により、昨年度より若干の売上高減少となった。配送燃料費の高騰や最低賃金引き上げなどにより厳しい経営状況ではあるが、食材費の減少や新規の得意先の開拓・新商品の開発により、収益を改善していきたい。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同比でカーテン用ラベルは52%減、敷物用ラベルは288%増、壁装用ラベルは16%減であった。
一般貨物自動車運送業	ドライバー不足が慢性化している中、輸送効率向上のため、求荷求車情報ネットワーク事業への参加者が増加している。また、燃料価格が上昇傾向にあり、収益を圧迫している。
貨物軽自動車運送業	例年、年度末の3月が混み合うが、今年の3月が落ちていた分、4月はその反動と大型連休に向けた受注が増加し、車が足りない状況が中旬～下旬まで続いた。食料品などで5月1日から値上げする商品があったため、いつも以上に物流が多くあった。
一般乗用旅客自動車運送業	タクシー事業の適正化及び活性化特別措置法の影響があるのか、若干の売上増になっている。
大谷石採石業	大きな工事が無かったことやコストの面で大谷石以外の石に変更されたりした影響により、売上高が前年同月比で4～10%減少した。